

青山 士 年表

西暦	和暦	月日	年齢	略歴	参考文献
1878	明治11年	9月23日		静岡県豊田郡中泉村にて青山徹・ふじの三男として生まれる(*1) 祖父宙平(文政1)地租改正時県民会副議長、貧民救済事業に邁進(*2) 父徹(弘化2)静岡県杉村嘉十郎二男 妻むつ(明20)兵庫県土田文次妹 長女まさ(大5) 二女のぞみ(大7) 三女めぐみ(大10) 姉せん(明8) 弟衛一(明14) 同妻チヨ(明28)本府戸川篤次妹(*3) 昭和14年時点原籍:静岡県磐田郡磐田町中泉542番地(*4)	(*1)『写真集 青山士/後世への遺産』山海堂 1994 pp.103-107 年譜 (*2)『評伝 技師・青山士の生涯』高崎哲郎,講談社 1994 (*3)日本図書センター『昭和人名辞典』(s17.9 T14初版) (*4)土木学会前会長履歴綴
1892	明治25年	4月	14	小学校卒業後上京 尋常中学校(後の府立一中、現・日比谷高校)に進学(*1)	
1896	明治29年	9月		第一高等学校予科二部に入学(寮の同室に浅野猶三郎)(*1)	
1899	明治32年			東京帝国大学工科大学土木工学科入学(*1)	
1903	明治36年	7月	24	東京帝国大学工科大学土木工学科卒業(*4)	
		8月		横浜港出発(旅順丸に乗船)(*1) シアトルで住み込みのアルバイト(*1) 北米合衆国紐育市ニューヨークセントラル、アエンド、ホドソンリバーア鉄道会社へ勤務 紐育洲ニ於イテ鉄道測量ニ従事(*4)	
1904	明治37年	2月	25	ニューヨーク・セントラル・ハドソン河鉄道で働く(*1) 北米合衆国紐育市ニューヨークセントラル、アエンド、ホドソンリバーア鉄道会社へ勤務 紐育洲ニ於イテ鉄道測量ニ従事(*4)	
		6月	25	北米合衆国政府「イスマアン、カナルコンミッション」ニ勤務 中央亜米利加パナマ地峡ニ於イテ測量製図設計ニ従事(*4)	
1906	明治39年		27	ガツンダム工事開始(*1)	
1911	明治44年	3月	32	ガツンダム 閘門建設工事開始(*1)	
		11月	33	帰国の途へ(翌年1月に帰国)(*1)	
1912	明治45年	1月	33	自明治37年6月1日至明治45年1月9日(*4) 1月9日辞表を正式に受理(*2)	
		2月		任内務技師 高等官六等 六級俸下賜 東京土木出張所勤務ヲ命ス(*4) 内務省東京土木出張所荒川改修従事(内務技師)叙高等官六等(*1)	
1913	大正2年	12月	35	五級俸下賜(*4)	
1914	大正3年	6月	35	陸軍高等官五等(*1,*4)	
		9月	36	叙従六位(*4)	
1915	大正4年	4月	36	土田むつと結婚(*1)	
		10月	37	荒川改修事務所従務ヲ命ス(*4) 荒川改修事務所岩淵水門工場従務(*1)	
		11月	37	大札記念章授与(*4)	
		12月	37	荒川改修事務所所属岩淵工場主任ヲ命ス(*4)	
1916	大正5年	1月	37	四級俸下賜(*4)	
		2月	37	長女まさ誕生(*1)	
		8月	37	陸軍高等官四等(*4)	
		9月	38	叙正六位(*4)	
1917	大正6年	12月	39	三級俸下賜(*4)	
1918	大正7年	2月	39	次女のぞみ誕生	
		5月	39	土木出張所改正廃止 任内務技師 高等官四等 三級俸下賜 東京第二土木出張所勤務ヲ命ス 荒川改修事務所従務ヲ命ス 荒川改修事務所所属岩淵工場主任ヲ命ス(*4)	
		7月	39	荒川改修事務所主任ヲ命ス(*4)	
		12月	40	陸軍高等官三等(*4)	
1919	大正8年	1月	40	叙従五位(*4)	
		11月	41	二級俸下賜(*4)	
1920	大正9年	8月	41	俸給令改正	
1921	大正10年	3月	42	二級俸下賜(*4)	
1922	大正11年	11月	43	一級俸下賜(*4)	
1923	大正12年	6月	43	土木出張所名称及分掌区域改正(告示148号)(*4)	
			43	東京土木出張所勤務ヲ命ス(*4)	
1924	大正13年	3月	44	勲任官ヲ以テ待遇セラル(*4)	
		6月	44	地方森林会規則第三条第二項第四号ニ依リ東京地方森林会議員ヲ命ス(*4)	
			44	叙正五位(*4)	
			44	労働調査係長ヲ命ス(千住機械工場)(*4)	
1925	大正14年	9月	45	叙勲四等瑞宝章(*4)	
1927	昭和2年	12月	48	陸軍高等官 二等三級俸下賜 年俸5,200円(*4) 新潟土木出張所長ヲ命ス(*4)	
1928	昭和3年	1月	48	新潟県道路調査会委員ノ囑託ニ応スル件許可ス(*4) 都市計画新潟地方委員会委員被仰付(*4)	
		2月	48	地方森林会規則第三条第二項第四号ニ依リ新潟地方森林会議員ヲ命ス(*4)	
		6月	48	臨時港湾調査会七尾港関係委員ヲ命ス	
1929	昭和4年	9月	49	叙従四位(*4)	
1930	昭和5年	6月	50	叙勲三等瑞宝章(*4)	
		12月	51	臨時港湾調査会伏木港酒田港関係委員ヲ命ス	
1931	昭和6年	5月	51	都市計画長野地方委員会委員被仰付(*4)	
		6月	51	俸給令改正 三級年俸4,650円(*4)	
1932	昭和7年	4月	52	都市計画石川地方委員会委員被仰付(*4)	
		7月	52	二級俸下賜(*4)	
		12月	53	臨時港湾調査会七尾港関係委員ヲ命ス(*4)	
1934	昭和9年	5月	53	任内務技監 叙高等官一等(*4)	
		6月	53	工業品規格統一調査会委員被仰付(*4)	
			53	国産振興委員会委員被仰付(*4)	
			53	国立公園委員会委員被仰付(*4)	
		8月	53	土木会議議員被仰付(*4)	
		10月	54	震災予防評議会評議員被仰付(従四位勲三等)(*4)	
		12月	54	叙正四位(*4)	
1935	昭和10年	1月	54	臨時産業合理局セメント製造業改善委員会委員ヲ囑託ス(*4)	
		2月	54	社団法人土木学会会長ニ当選ス(任期一年)(*4)	
		11月	55	利根川治水専門委員ヲ命ス(*4)	
1936	昭和11年	9月	55	神宮関係施設調査会委員被仰付(*4)	
		11月	56	依願免本官(*4)	
		12月	56	叙従三位(*4) 特旨ヲ以テ位一級被進	
1937	昭和12年	10月	57	土木技術ニ関スル顧問ヲ囑託ス(*4)	
1938	昭和13年	2月	57	東京市水道水源調査委員会委員ヲ囑託候也(*4)	
		7月	57	兵庫県水害復興専門ノ委員会委員ヲ囑託ス(*4)	
1939	昭和14年	4月	58	『ばなま運河の話』発刊(私家版)(*1)	
		9月	58	満洲国交通部囑託(*4)	
1940	昭和15年				
1941	昭和16年				
1942	昭和17年				
1943	昭和18年				
1944	昭和19年				
1945	昭和20年	6月	64	長野県へ疎開。戦後静岡県の実家へ(*1)	
1946	昭和21年				
1947	昭和22年				
1948	昭和23年				
1949	昭和24年		68	建設省荒川計画高水量検討会座長(*1)	
1950	昭和25年		69	土木学会名誉会員	
1951	昭和26年				
1952	昭和27年				
1953	昭和28年				
1954	昭和29年				
1955	昭和30年				
1956	昭和31年				
1957	昭和32年				
1958	昭和33年				
1959	昭和34年				
1960	昭和35年				
1961	昭和36年				
1962	昭和37年				
1963	昭和38年	3月21日	84	老衰のため逝去。旭日中綬章(*1)	